

学校図書館支援だより

令和2年8月25日(火)

第4号 益田市教育委員会

Tel.31-0445 Fax24-1380

学校図書館巡回訪問について



益田市教育委員会と益田市立図書館職員による学校図書館訪問を実施させていただいています。7月は、中学校を中心に訪問させていただきました。

昼休みの時間に訪問することにより、子どもたちがどんなふうに学校図書館を利用しているのかを楽しみに見させていただいています。カウンターに入り、本の貸し出し当番をする子ども、お目当ての本を手に取り嬉しそうに読み始める子ども、席につきノートを広げて勉強をする子どもなど、給食の時間には静かだった図書館が、子どもたちが来た瞬間に生き生きと動き始めた気がしました。

また、学校司書さんや図書館支援員さん、図書館担当の先生と嬉しそうに会話をする子どもたちの笑顔が印象的でした。

学校図書館は、本と人をつなぐ場所ですが、本を介して人と人をつなぐ場所でもあると感じます。学校図書館がこれからも子どもたちにとって魅力的な場所になりますよう、学校、市立図書館、教育委員会でき取り合っていきたいと思ひます。



9月末からは、小学校を中心に訪問をさせていただき予定です。

活動報告書より

☆5年生の「米」についての授業を図書館を活用して行いました。調べが不十分だったり、意味がよく理解できなかつたりしても、図書館ならまた調べ直しができると、「これについては地図を活用しよう」といろいろなアイデアもとび出したりなど、枝、葉が広がる気がします。「調べることをおもしろいと思ってくれたら嬉しいな」と思っています。

☆新型コロナが流行してから探していた子供向け「コロナ本」3冊(絵本)を購入することができました。(7/4付山陰中央新報にて紹介)新型コロナについてわかりやすく説明してあり、そしてとてもやさしい表現で感染予防が呼びかけてありました。子どもと接する機会の多い大人の人たちにもぜひ読んでほしいと思ひました。本校では、夏休み中職員室に展示して、職員の皆さんにまず読んでもらうことにしました。子どもたちには、夏休み後、ホールに展示して読んでもらおうと企画しています。(ウィルスコーナーを企画し、書籍、新聞記事を展示予定)



調べ学習用セットの見直しをしました



市立図書館に準備してある「調べ学習用のセット」がより授業の中で使いやすくなるには・・・ということで、各学校の図書館担当の皆さんにアンケートのご協力いただきました。ありがとうございました。8月初め、数名の学校司書さんが集まってくださいました。アンケート結果をもとに、今ある調べ学習用セットを見直し、使いやすい本を中心にしたミニセットを作りました。購入希望のあった本も取り入れ、現在セットを組み替える作業を進めています。今後調べ学習用セットの利用希望がある場合は、組み換え途中のものもありますので、市立図書館に相談の上、借りてください。

活用しよう！学校図書館



先月の「図書館支援だより」で益田中学校の学校図書館活用授業について紹介をしました。「主体的・対話的で深い学び」の授業実現に向けて学校図書館を利用していくことは有効です。

中学校：30.7時間
小学校：13.7時間

(島根県の小中学校1クラス当たりの図書館を活用した授業時数：H30)今年度、この時間を目標に取り組みしてみてください。